



<教育目標>

英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

平成 28 年 6 月 1 日発行

No. 4 校長 矢口 仁

バトンをつなぐ - 『一瞬の風になれ』から-

校長 矢口 仁

紫陽花の末一色にとなりにけり 小林 一茶

今日から6月（水無月）に入りました。過去5年のデータによると、梅雨入りは来週あたりになりそうです。今日は運動会の予行でした。4日の運動会が天気に恵まれ、生徒たちが躍動することを願っています。



さて、私のお薦めの本に佐藤多佳子さんの「一瞬の風になれ」（全3巻）があります。県立春野台高校陸上部を舞台に繰り広げられる青春小説です。

天才的なスプリンターの一ノ瀬連と中学まではサッカーで伸び悩み、足の速さを生かして高校から陸上に転向した神谷新二が入部しました。そのため、春野台高校陸上部のレベルが高くなり始め、関東大会・インターハイを目指します。100m・400mリレーへの取組の細かな描写があり、神谷新二の心境がおもしろく表現されています。記録の伸び悩み、部の中での友人関係の悩み、恋心、そして、インターハイ予選……読んでいて、どんどん先が読みたくなる小説です。

その中で、リレーでのバトンをつなぐことの難しさが随所に描かれています。第一走者から第四走者へ変わった時の神谷新二が「渡すだけの人から、もらうだけの人になったんだけど、やっぱりこっちの方が難しいよ。ビビって出遅れると、もっと引っ張って（早く出て）いいと守屋さん（第三走者）に怒られる。」と言います。

コーチは、「試合前の緊張するのは、まあ誰にもあるよな。練習通りに走れないことも多いわ。これは、慣れだとしか言いようがないんだけどな。試合を重ねていって、タイムがじわじわと伸びてきて、少しずつ自信がついてくる。」と選手に話します。

さあ、運動会本番間近です。二週間前から練習が始まり、だんだんと熱が入ってきました。全員リレー、選抜リレー等では、バトンの受け渡しが結果に大きく影響します。体育の授業で50mを二人でうまくバトンをつないだら最高1.13秒早くなった二人組があると廊下に掲示されていました。心とタイミングを合わせてしっかりとバトンをつないでほしいと思います。そうすれば「1+1」が「2」以上の力になります。

また、練習通りに力を発揮することの難しさもあります。練習の成果を本番でも出せるよう、さらに練習を重ねてほしいと思います。

全員が自分の役割を果たし、全力を出し切れる運動会にしてください。「力戦奮闘」のスローガンのもと、力を結集させ、運動会を成功させましょう！